

選択科目(地理歴史) 世界史

(出題内容・形式・配点) * 出題内容、問題番号、配点は2月7日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 中国古代～近世にいたる行政制度史	記述	20	80分
II チャガタイ=ハン国とティムール帝国の成立	記述	20	
III サハラ砂漠以南のアフリカ史	記述	30	
IV 国際主義と近代アメリカの政策	記述	30	
合計		100	

【出題の基本方針】

高等学校における標準的な学習により世界史の知識を習得しているかを問うため、基本的に教科書・用語集・資料集に記載されている範囲から出題した。また、大学での授業を理解するにふさわしい文章読解力と論理的思考力が身についているかを試すため、リード文の内容を正確に理解した上で解答する形での出題を心がけた。

【学習のポイント】

- ・歴史の大きな流れと歴史的事象との因果関係をよく意識して世界史を捉えることが重要である。歴史用語や年号を暗記することも大切ではあるが、各事象の相互の関連性を理解できるよう系統立てて学習すること。
- ・用語を正確に書けるようにすること。中国史では常用漢字以外の漢字も頻出するが、歴史用語である以上、正確に書けるように練習すること。西洋史においても、人名や地名のカタカナ表記は教科書などに準拠して正確に覚えておくこと。
- ・時事問題に絡んだ問題が毎年よく出題されるので、ニュースを見ながら自分でその歴史的背景や意味を考え、まとめておくことを勧める。
- ・歴史上の都市や地域が現在のどのあたりに存在していたのか、地図上で正確に把握しておくことが重要である。地名だけを暗記するのではなく、歴史地図などを併用して、歴史的事象と結びつけながら学習すること。